

# 大切な 甲賀市の自然 ③

甲賀市内にすむ  
絶滅が心配される動植物や  
それらを育む大切な  
自然についての連載です

## 水辺の鳥・ カワセミの仲間



① カワセミ(全長16~17cm)



② アカショウビン(全長26~29cm)



③ ヤマセミ(全長34~39cm)

自然に関心のある方なら、「飛ぶ宝石」といわれるカワセミをご存知でしょう。このカワセミ、小魚の多い川や池があれば、甲賀市内では意外に身近な所で見つかります。ただし、警戒心が強いので、驚かさなないように探してみましよう。

自然の豊かな甲賀地域には、他に2種類の希少なカワセミの仲間がすんでいます。

ヤマセミは、広い森に囲まれた大きな溪流や池に生息します。黒と白の模様が鮮やかです。限られた良い環境の場所に見られます。

アカショウビンは、毎年南の国から飛んでくる夏鳥です。「火の鳥」といわれる赤い鳥で、森の豊かな奥深い溪流にのみ、わずかな数が来るようです。

これらカワセミの仲間が生活するには、餌となる生き物が豊富な水辺と、子育てに必要な巣穴を掘る環境が大切です。カワセミとヤマセミはコンクリート護岸のない土の崖に巣穴を掘り、アカショウビンは森にある朽ちた巨木に穴を作るため、こうした環境が重要なのです。

これらカワセミの仲間がすむ美しい水辺と森を将来に残したいものです。

みなくち子どもの森自然館  
☎ 63-6712 FAX 63-0466

6月の  
休園日

5(月)、12(月)、  
19(月)、26(月)

## 甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は、あいの土山文化協会からお寄せいただきました。

### 土山もつく会

- ・ 晩春の旅の懐に土鈴鳴る 前川きくじ
- ・ 山吹や素焼の壺にあふれさす 田村 勝子
- ・ 春惜しむ丹も剥落の多宝塔 松山多津子
- ・ 茶摘唄おれに黒髪かへり来ず 奥村 露子
- ・ 孫の焚く熱き味噌汁春の霜 大西多喜男
- ・ 花曇り旅の行く先定まらず 藤田 恭子
- ・ 逝く春や仏画の眉の細かりし 福永 昭子
- ・ 砂山をくずして春は子等の手に 松山 維木
- ・ 山吹や離れの客の蛇の目傘 福井 真理

### 鈴鹿吟社

題 風光る・桜・春季雑詠  
(前月高点句作者五名による選)

- ・ 桜餅何処へも行けぬ母を訪う 松本みさ枝
- ・ 草餅や老舗に勝る母の味 田中美由紀
- ・ 野仏の優しき顔や桜咲く 小倉たけ子
- ・ 野点傘舌に滑るや蕨餅 森地千恵子
- ・ 摘み草や母の残せし手提げ籠 西村 幸子
- ・ 桜花七つぼたんの夢悲し 村田 静枝
- ・ 耐えて生き今日の慶び桜花に逢う 奥村 ツエ
- ・ 桜咲く古里恋いて子の帰郷 小倉きみ江
- ・ 反抗期背伸びして居る葱坊主 森田うた子
- ・ 卒業や夢有る世界巣立ち行く 市井 タカ
- ・ 春の土絡みて重き草を引く 藤田美智恵

次号(7月1日号)は、水口町文化協会の予定です。